調査票記入例

文部科学省ホームページ掲載の『質疑応答集』も御確認ください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm
○学校基本調査＞Ｑ＆Ａ＞質疑応答集（初等中等教育機関，専修学校・各種学校編）

□卒業者について、状況別、主たる障害種別に記入します。主たる障害種別とは，当該生徒の在籍していた学級の編制上主たる教育の対象としている障害種別をいいます。卒業者が各区分に重複して該当する場合は，便宜，A→B→C→D→E の順に記入し，重複記入はしないでください。
・本年５月１日現在の状況を記入してください。したがって，進学，入学した者が５月１日までに退学した場合，就職した者が５月１日までに退職した場合は進学者，入学者，就職者として扱いません。なお，卒業時から５月１日までの状況の変更について把握できない場合は，卒業時の状況を記入してください。

令和〇年度 学校基本調査

（様式第29号）
統計法に基づく基幹統計調査
政府統計
…法に基づく…統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

卒業後の状況調査票（特別支援学校 高等部）（3－

—令和〇年５月１日現在—

1 学校の所在地	〒 （市区郡） （町村） （番地） 電話（ （ ） ）
2 （フリガナ） 学校名	学校 分校
報告者	校長 氏名 / 取扱者 氏名

□廃校となった場合でも，前年度に卒業者がいる場合，本調査票の作成が必要です。
廃校の場合であっても，本項目では「１ 本校」又は「２ 分校」を前年度の実態によって記入します。

所在地の市町村番号	3 設置者別	4 本校分校別
※ 6010 **201**	1 国立 / 2 公立 / 3 私立 — **1**（該当する項の番号を記入する。）	1 本校 / 2 分校 — **1**（該当する項の番号を記入する。）

「５」の主たる障害種別の番号

障害種別	番号
視覚障害	1
聴覚障害	2
知的障害	3
肢体不自由	4
病弱・身体虚弱	5

1 本校と分校（正規の手続を完了したもの。）ごとに…
2 …て記入する。
3 …の当該学校の所在県の男女ごとの数にそれぞれ…
4 …欄，（３－３）票の「10」欄…

□家事手伝いをしている者，外国の学校に入学した者，左記A～E に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者の数を記入します。

□「就職」とは，給料，賃金，報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家･自営業に就いた者は含めますが，家事手伝いは就職者には含めません。（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱います。）

□卒業者のうち，左記各欄のいずれに該当するか不明の者，卒業後本年５月１日までに死亡した者。

□「F 左記以外の者」のうち，社会福祉施設等に入所又は通っている者の人数を記入します。ただし，「医療機関」には，入院している者のみ記入します。
・児童福祉施設
　児童福祉法による児童福祉施設（助産施設，乳児院，母子生活支援施設，保育所，情緒障害児短期治療施設，児童自立支援施設，児童更生施設，児童養護施設及び児童家庭支援センターを除く。）
・障害者支援施設等障害者自立支援法による「障害福祉サービス」を提供している施設。また，従来の「更生施設」，「授産施設」から当該サービスを提供する施設へ移行された施設。なお，在宅で障害福祉サービスを利用している者については計上しません。
・医療機関
　国立病院，指定発達支援医療機関，診療所等に入院している者（ただし，６か月未満の短期療養を目的とする者を除く。

□「５」に計上した卒業者のうち，大学（学部）又は短期大学（本科）へ願書を提出した者（就職して願書を提出したものを含む）の実数を記入します。
同一人が２校（学部･学科）以上に願書を提出した場合も，１名として記入します。
例えば，同一人が２校（学部･学科）に入学を志願して，そのいくつかの学校（学部･学科）に合格した場合は，実際に進学した方に記入し，いずれの学校（学部･学科）にも不合格の場合は，第一志望の方に記入します。

□当該生徒の在籍していた学級の編制上主たる教育の対象としている障害種別の数字を記入します。

□主たる障害種別が「３ 知的障害」，「４ 肢体不自由」及び「５ 病弱･身体虚弱」の場合，***学科番号は大分類の学科コード***を記入します。
例えば，農業科であれば「201」（小分類）ではなく，「200」（大分類）を記入します。

□前年３月以前の本科卒業のうち本年度大学（学部）又は短期大学（本科）へ入学を志願した者の実数を，前年３月卒業者（いわゆる１浪）と前々年３月以前卒業者（いわゆる２浪以上）の別に記入します。
なお，入学志願者の記入の方法については「６」の項目の説明を参照してください。

□「障害者支援施設等」に記入した者のうち、障害者総合支援法における就労系障害福祉サービス（就労移行支援事業、就労継続支援Ａ型事業、就労継続支援Ｂ型事業）を利用している者を記入します。

5 状況別卒業者数（令和〇年3月の本科卒業者。専攻科，別科及び通信制課程の修了者は除く。）

学科名		学科番号	主たる障害種別	男女別	A 大学等進学者 大学（学部）	短期大学（本科）	大学・短期大学の通信教育部及び放送大学	大学・短期大学（別科）	高等学校（専攻科）	特別支援学校高等部（専攻科）	B 専修学校（専門課程）進学者	C 専修学校（一般課程）等入学者 専修学校（一般課程）等	各種学校	D 公共職業能力開発施設等入学者	E 就職者等（左記A,B,C,Dを除く。） 自営業主等	常用労働者 無期雇用労働者	有期雇用労働者（雇用契約期間が一か月以上の者）	臨時労働者	F 左記以外の者	G 不詳・死亡の者	計（卒業者総数）
	10	100	3	男	1									3	a	b 2			3		9
	20	100	3	女		2								1	h	i 1			2		6
	30			男																	
	7040			女																	
科	7050			男																	
	7060			女																	
科	7070			男																	
	7080			女																	
科	7090			男																	
	7100			女																	
科	7110			男																	
	7120			女																	
計	7210	999		男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	3	0	9
	7220	999		女	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	6
	※7230	999		計	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	0	0	5	0	15

	男女別	（再掲）左記A，B，C，Dのうち就職している者 Aのうち	Bのうち	Cのうち	Dのうち	左記E有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上，かつフルタイム勤務相当の者	左記Fのうち社会福祉施設等入所，通所者 児童福祉施設	障害者支援施設等	うち就労系支援事業利用者	医療機関	6 「５」卒業者総数のうち大学（学部），短期大学（本科）への入学志願者数（再掲） 大学（学部）	短期大学（本科）	7 令和3年3月以前卒業者のうち本年度大学(学部)，短期大学（本科)への入学志願者数 令和△年3月卒業者 大学（学部）	短期大学（本科）	令和☆年3月以前卒業者 大学（学部）	短期大学（本科）
10	男	c	d	e	f	g		3			1		1			
20	女	j	k	l	m 1	n		2				2				
30	男															
7040	女															
7050	男															
7060	女															
7070	男															
7080	女															
7090	男															
7100	女															
7110	男															
7120	女															
7210	男	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0
7220	女	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0
※7230	計	0	0	0	1	0	0	5	0	0	1	2	1	0	0	0

□ 「E 就職者等」の「自営業主等」＋「無期雇用労働者」＋「（再掲）」の「左記A，B，C，Dのうち就職している者」＋「左記Ｅ有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者」
＝就職者総数
　＝（３－２）票「８ 就職先の産業別就職者数」の計
　＝（３－２）票「９ 職業別就職者数」の計
　＝（３－３）票「10 就職先の都道府県別就職者数」の計

□「５ 状況別卒業者数」のうち，「E 就職者等」の「自営業主等」及び「無期雇用労働者」，「（再掲）」の「左記A，B，C，Dのうち就職している者」及び「左記Ｅ有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者」について，「卒業後の状況調査票（特別支援学校 高等部）(3-2)～(3-3)」に産業別・職業別・都道府県別に就職状況を記入します。

□ オンライン調査システムで回答した調査票については，調査票右下に送信した日付が表示されます。
空白になっていないか，表示されているのが本年度の日付かを必ず確認してください。

20XX/05/01 09:00

令和〇年度 学 校 基 本 調 査

卒業後の状況調査票（特別支援学校　高等部）　（3－2）

―令和〇年５月１日現在―

秘

都道府県番号	学校コード	
15	E1……	8

特別支援学校高卒２

統計法に基づく基幹統計調査

学校名	学校 / 分校	報告者	校長氏名	取扱者氏名

□就職者（「5 状況別卒業者数」のうち，「E 就職者等」の「自営業主等」及び「無期雇用労働者」，「（再掲）」の「左記A，B，C，Dのうち就職している者」及び「左記Ｅ有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者」）の就職先の事業所の主な産業種類を別表１「日本標準産業分類（抄）」によって分類します。例えば，電気機械器具の製造会社で事務を執っている場合は「製造業」に分類します。
支店･支社に就職した場合はその支店や支社の主な産業によって分類します。

□就職したが就職先が不明の者は，産業別を「左記以外のもの」とし，県内・県外別は「県外」として扱います。

□学科番号は*大分類の学科コード*を記入します。
例えば，農業科であれば「201」（小分類）ではなく，「200」（大分類）を記入します。

□当該生徒の在籍していた学級の編制上主たる教育の対象としている障害種別の数字を記入します。

□（３－３）票「10 就職先の都道府県別就職者数」の「新潟」数値と一致します。

□就職者総数（（３－１）票下段説明参照）と一致します。

□就職者（「５ 状況別卒業者数」のうち，「「E 就職者等」の「自営業主等」及び「無期雇用労働者」，「（再掲）」の「左記A，B，C，Dのうち就職している者」及び「左記Ｅ有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者」）個人の仕事の種類を手引「日本標準職業分類（抄）」によって分類します。
（例）電気機械器具の製造会社で事務を執っている場合は「事務従事者」の欄に分類します。

8 就職先の産業別就職者数

学科名	学科番号	主たる障害種別	男女別	A 農業，林業 県内	A 農業，林業 県外	B 漁業 県内	B 漁業 県外	C 鉱業，採石業，砂利採取業 県内	C 鉱業，採石業，砂利採取業 県外	D 建設業 県内	D 建設業 県外	E 製造業 県内	E 製造業 県外	F 電気・ガス・熱供給・水道業 県内	F 電気・ガス・熱供給・水道業 県外	G 情報通信業 県内	G 情報通信業 県外	H 運輸業，郵便業 県内	H 運輸業，郵便業 県外	I 卸売業，小売業 県内	I 卸売業，小売業 県外	J 金融業，保険業 県内	J 金融業，保険業 県外	K 不動産業，物品賃貸業 県内	K 不動産業，物品賃貸業 県外	L 学術研究，専門・技術サービス業 県内	L 学術研究，専門・技術サービス業 県外	M 宿泊業，飲食サービス業 県内	M 宿泊業，飲食サービス業 県外	N 生活関連サービス業，娯楽業 県内	N 生活関連サービス業，娯楽業 県外	O 教育，学習支援業 県内	O 教育，学習支援業 県外	P 医療，福祉 県内	P 医療，福祉 県外	Q 複合サービス事業 県内	Q 複合サービス事業 県外	R サービス業（他に分類されないもの） 県内	R サービス業（他に分類されないもの） 県外	S 公務（他に分類されるものを除く） 県内	S 公務（他に分類されるものを除く） 県外	T 左記以外のもの 県内	T 左記以外のもの 県外	計 県内	計 県外	計
普通科	8011100	3	男																													1	1									1	1	2
	8021100	3	女																											1		1										2		2
科	8031		男																																									
	8041		女																																									
科	8051		男																																									
	8061		女																																									
科	8071		男																																									
	8081		女																																									
科	8091		男																																									
	8101		女																																									
科	8111		男																																									
	8121		女																																									

9 職業別就職者数

学科名	学科番号	主たる障害種別	男女別	B 専門的・技術的職業従事者	C 事務従事者	D 販売従事者	E サービス職業従事者	F 保安職業従事者	G 農林漁業従事者 1 農林業従事者	G 農林漁業従事者 2 漁業従事者	H 生産工程従事者 1 製造・加工従事者	H 生産工程従事者 2 機械組立従事者	H 生産工程従事者 3 整備修理従事者	H 生産工程従事者 4 検査従事者	H 生産工程従事者 5 その他	I 輸送・機械運転従事者	J 建設・採掘従事者	K 運搬・清掃等従事者	L 左記以外の職業従事者	計	計のうち（再掲） 職業安定所又は学校を通じて就職した者	計のうち（再掲） 自家・自営業に就いた者
普通科	8011100	3	男				2													2		
	8021100	3	女			1	1													2		
科	8031		男																			
	8041		女																			
科	8051		男																			
	8061		女																			
科	8071		男																			
	8081		女																			
科	8091		男																			
	8101		女																			
科	8111		男																			
	8121		女																			

□継続的に本業として自家業に従事する者又は自営業を営む者を再掲として記入します。
なお，家業が会社組織となっている場合は自家･自営業として扱いません。
　なお，「計のうち，職業安定所又は学校を通じて就職した者」と「計のうち，自家･自営業に就いた者」とに同一人について重複記入のないようにしてください。

□「専門的・技術的職業従事者」とは，高度の専門的水準において，科学的知識を応用し，技術的な業務に従事する者及び教育・芸術・宗教・法律その他の専門的性質の業務に従事する者をいいます。
この業務を遂行するには，通例，大学・研究機関などにおける高度の科学的訓練・その他専門的分野の訓練，又はこれと同程度の実務的経験あるいは芸術上の創造的才能を必要とするので特別支援学校卒業後すぐにこの職業に従事する者は少ないです。
また，この職業分類のうち国家試験合格や資格・免許を有していることを必要とする職業については，これらの資格・免許をもたないで類似した職務に就いていても「専門的・技術的職業従事者とはせず，「生産工程従事者」又は「サービス職業従事者」等に分類します。

1　産業別就職者数の分類は，「日
2　職業別就職者数の分類は，「日

文 部 科 学 省

20XX/05/01　09:00

令和〇年度 学 校 基 本 調 査

卒業後の状況調査票（特別支援学校　高等部）（３－３）

―令和〇年５月１日現在―

都道府県番号	学校コード	
1 5	E1・・・・・・・・・・	8

特別支援学校高卒３

㊙

統計法に基づく基幹統計調査

学校名	学　校 分　校	報告者 校長氏名		取扱者氏名	

10 就職先の都道府県別就職者数

学科名		学科番号	主たる障害種別	男女別	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重
普通科	9010	1000	3	男															1								
普通科	9020	1000	3	女															2								
科	9030			男																							
	9040			女																							
科	9050			男																							
	9060			女																							
科	9070			男																							
	9080			女																							
科	9090			男																							
	9100			女																							
科	9110			男																							
	9120			女																							

10 就職先の都道府県別就職者数（つづき）

学科名		学科番号	主たる障害種別	男女別	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	その他	計
普通科	9011	1000	3	男		1																							
普通科	9021	1000	3	女																									2
科	9031			男																									
	9041			女																									
科	9051			男																									
	9061			女																									
科	9071			男																									
	9081			女																									
科	9091			男																									
	9101			女																									
科	9111			男																									
	9121			女																									

□学科番号は*大分類の学科コード*を記入します。
　例えば，農業科であれば「201」（小分類）ではなく，「200」（大分類）を記入します。

□当該生徒の在籍していた学級の編制上主たる教育の対象としている障害種別の数字を記入します。

□（３－２）票「８ 就職先の産業別就職者数」の「県内」数値と一致します。

□「その他」には国外勤務者及び不詳の者を記入します。

□就職者総数（（３－１）票下段説明参照）と一致します。

20XX/05/01　09:00

文 部 科 学 省